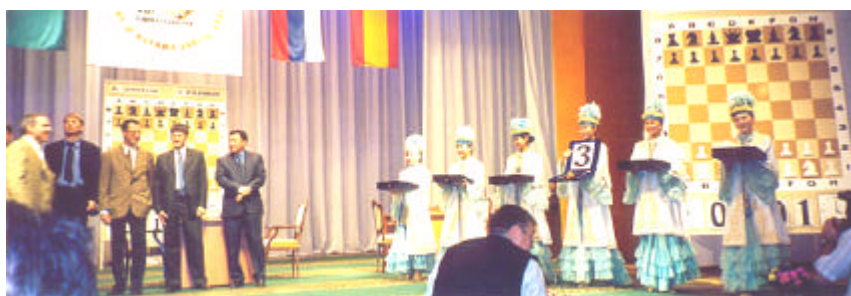


函館チェスクラブ会報

No. 4

アスターナでカスパロフ1位



(はなやかな表彰式 アスターナにて)

充実の8月練習会
レイティング導入案
会員の熱戦譜
アスターナ
チェス学校2

函館チェスクラブ

ホームページ

<http://www.fun.ac.jp/~kawagoe/chess/>

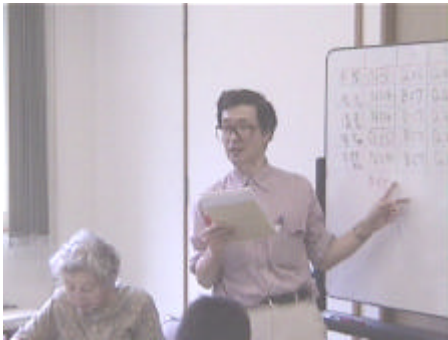
9月18日

位者が実戦交流できるようにと、考えてみました。

充実の8月練習会

8月練習会

8月25日(土)ふるる函館にて練習会が行われました。参加者で都合のつかない方々が多く、少し残念でしたが、参加者どうしは家族的な雰囲気の中、チェスを楽しむことができました。



内容は、世界チェス界の様子を知る話や、高佐さんの一手メイト解答合戦。また、駒落ちを含む実戦交流など、充実したものとなりました。

駒落ち戦は初めての試みですが、上位者と下

番	氏名	1R	2R	3R	4R	計
1	高佐 一義	3 勝	bye	9 勝	10 勝	3
2	山田 明弘	4 勝	bye	8 *	9 *	1
3	本間 尚彦	1	4	7	6	0
4	大野 智彦	2	3 勝	10 勝	8 *	2
5	中村 健人	9 勝	8 勝	6 勝	7 勝	4
6	大野 航	10 勝	9 勝	5	3 勝	3
7	三上 翔平	8 勝	10 勝	3 勝	5	3
8	田中 智之	7	5	2 勝	4 勝	2
9	本家 和子	5	6	1 *	2 勝	1
10	浅間 花枝	6	7	4	1 *	0

8月25日の公式戦 結果



公式ゲームの勝敗は表のとおりです。

全勝は中村健人君でした。

前の数字が対戦者の番号、「勝」とある方が勝ちで、空欄が負けです。

「bye」はその回不参加、「*」印は駒落ちでの敗戦です。

駒落ち戦をどのように評価するかはまだ決めていません。そこで勝者は同等の相手とやったと評価して、負けはノーカウントとしました。今回はそれでご了承ください。

競技会ではないため、1位、2位とは決めないで終わりました。しかし、優勝、敢闘賞の賞品くらいは出してよかったかなと思います。遅れて申し訳ないですが今回の優勝は中村君と

認定し、後ほど賞品を贈りましょう。

末筆ながら、本家さん、浅間さん、差し入れごちそう様でした。V(^0^)

(山田 明弘)





活動カレンダー

8月例会

日時：8月25日(土)午後1時～5時

(高佐 一義、山田 明弘)

場所：ふるる函館(0138-23-5961)

内容：前半はチェス講座と練習。後半は参加人数により、**毎回公式試合**を実施。

事前連絡どおりです。

はこだて未来大学 学園祭

日時：10月20日、21日(土日)

場所：はこだて未来大学

内容：野外チェスや、ブリッツゲームなどのデモンストレーションを、函館チェスクラブの宣伝もかねて開催します。詳細は未定。

第1回 函館チェス王者決定戦

日時：10月27日(土)

時間は午後1時～5時の予定

場所：ふるる函館(0138-23-5961)

内容：初心者から腕自慢までが参加できるクラブ主催の公式競技会です。(棋譜が記録できる程度の)最短の持ち時間で、スイス式6回戦を想定。賞はクラス別を考えていますから、弱くても、負

けてもチャンスがあって、楽しめます。見学だけでもいいですから是非ご来場ください。

ロシア極東大学チェス大会(仮称)

日時：11月10日(土)午後1時～5時

場所：ロシア極東大学(詳細は未定)

内容：クラブ主催ではありませんが、函館で行われる公式競技会です。もちろんロシアの方もたくさん参加されるでしょう。お楽しみに。

レイティング導入案

上達の目安として

お稽古事には、免許、段級など、たいいてい上達を表す目安があるものです。その発行を資金源として運営する団体も多いようです。

チェスにもレイティングという実力を表すように作られた持ち点制度があります。これが上達の目安となります。世界チェス界では、アマチュアもプロもFIDEが発行する同等の尺度でレイティングが与えられ、それによってマスター(高段者)を決定しています。日本チェス協会、米国チェス連盟もそれぞれ独自の権威でレイティングを発行しています。

しかし、これを単純に当クラブに導入することはできません。参加者が少ないと正確ではありませんし、偏差値と同じようなもので、全員が上達したら、誰のレイティングも変わりません。

そこで次のように考えました。

段級認定案

大きく3クラスに分けて、上から1400、1100、700のレイティングを割り振り、これを始点とする。(インフレを防ぐため、少し低めに設定した。また、どこのグループかが問題になるのは最初だけで、対局が重なれば妥当なものに近づくことになる。)

準の簡易公式を用い、公式試合を資料として、レイティングを算出する。

クラブの公式競技会参加の場合、暫定的に1試合ごとに3点を加える。

会報の問題を解答して正解した場合、暫定的に1問につき2点を加える。

当クラブ内で行ったゲームは全て公式試合とし、算出開始はクラブ発足の時点とする。

会員が外部団体主催の大会に出場したゲームも、対戦相手のレイティング(例えばUSCF、JCAなど)を元に計算し、レイティング不明の場合は、会員のレイティング+100として計算する。

対局数10局以上の会員には、以下のようにレイティングに応じて、クラブが設定した段級を無料で認定する。

正常な運営に必要なならその都度見直しをする。

Aクラス

1800点以上	3段
1700点以上	準3段
1600点以上	2段
1500点以上	準2段
1400点以上	初段

Bクラス

1300点以上	1級
1200点以上	2級
1100点以上	3級
1000点以上	4級

Cクラス

900点以上	5級
800点以上	6級
700点以上	7級
600点以上	8級
500点以上	9級

スタートラインは以下のようにする。ただし、8月25日の結果のみ加味した。新会員は、TDが決定する。()内は局数

Aクラス 仮レイティング

高佐 一義	1457(3)
大野 智之	1428(4)
山田 明弘	1425(3)
川越 敏司	1400(0)
工藤 孝彦	1400(0)
嶋原 健	1400(0)
山田 弘平	1400(0)
本間 尚彦	1359(4)

Bクラス

中村 健人	1148(4)
三上 翔平	1121(4)
大野 航	1116(4)
玉利 達夫	1100(0)
河村 潔廣	1100(0)
山田 真明	1100(0)

Cクラス

本家 和子	724(4)
浅間 花枝	708(4)
田中 春行	740(4)
(他の方はすべて700)	

レイティングの原則

レイティングは1試合ごとに点数をやりとりします。負けたものから勝ったものへ点数が平均16点ずつ移動します。強い相手に勝った場合はより大きく点数が移動します。

理論上は100点上で64%、200点上で76%、400点差で91%上位者が勝つとなっています。

現在のレイティングは仮のもので、実力を表すというより、あくまで目安として考えましょう。理論上、局数が20局必要です。高すぎる方は下がり、低すぎる方は上がっていくでしょう。

以上の ~ について会員の皆様におはかりします。皆さんからご異見がなければ10月27日から正式にスタートしたいと思いますのでよろしくをお願いします。



ちなみにFIDEの段位認定は以下のようになっています。もちろん、そのレイティングになったからといってすぐには認定されません。国際大会で何度か活躍するという条件などがあります。

日本にはGMはいません。(フランスのGMロチエは日系フランス人です)

今、期待されるのは将棋の羽生プロがIMに

なれるかどうかでしょう。

GM (グランド・マスター)

最低2500以上

IM (インタナショナル・マスター)

最低2400以上

FM (FIDEマスター)

最低2300以上

(山田 明弘)

会員の熱戦譜

是非チェス盤にならべてみてください。解説は初級者の方が対象です。

次の記号は世界中で使われているものから、参考にしてください。

± 白優勢

± 黒優勢

+ 白勝勢

+ 黒勝勢

1 - 0 白勝

0 - 1 黒勝

1/2 - 1/2 引分

= 形勢互角

形勢不明

= 駒損ながら互角

! 好手

!! 絶妙手

? 疑問手

?? 大悪手、ボカ

! ? 注目手(よい意味に使う)

? ! 勝負手(どちらかという悪い手)

メイト

会員の棋譜

白：高佐 一義

黒：本間 尚彦

定跡：フレンチ・デフェンス

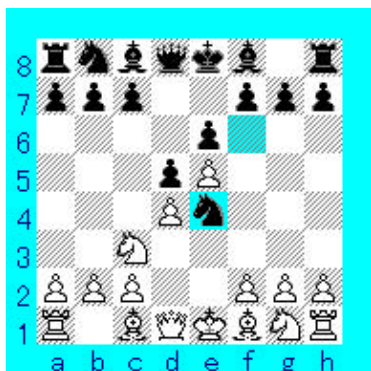
No.4_01

1. e4 e6

2. d4 d5

3. Nc3 Nf6

4. e5 Ne4



{ Nfd7 が普通の手です。C5 とポーンを突き出す手が楽しみです。出て行くのは勇ましいようですが、Nxe4 とナイトを交換されると e4 のポーンが弱点となります。}

5. Bd3 Bb4

6. Ne2 O-O

7. O-O! Nc6

{ ここは黒 f 5、あるいは Nxc4 として中央のナイトを活かすべきでした。6 手目、

白のキャスリングによって Nc3 が自由になったことに注目しましょう。序盤の目的のひとつは先ずキャスリングすることです。}

8. Nxe4 dxe4

9. Bxe4 干 Nxd4 ??

{ 駒損になってしまいました。駒を取る前に、損にならないように計算するのが大事。}

10. Nxd4 + Bc5

11. c3 Bxd4

12. cxd4 c5

13. dxc5 Qxd1

14. Rxd1 b5 ??

15. Bxa8 Ba6

16. Be4 b4

17. Be3 h6

18. Rd7 Bb5

19. Rxa7 Rd8

20. h3 g6

21. c6 Kg7

22. Bb6 Rb8

23. Rb7 Rxb7

24. cxb7

1-0

{ 黒投了。b 筋のポーンがクイーンになることを防げません。}

白：山田 明弘

黒：大野 智之

定跡：ツー・ナイト・デフェンス
No.4_02

1. e4 e5

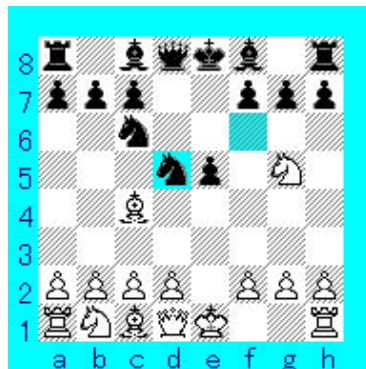
2. Nf3 Nc6

3. Bc4 Nf6

4. Ng5 d5

5. exd5 Nxd5 ! ?

{ ツー・ナイトと呼ばれる古来より知られた激しい定跡です。黒の 5 手目、ポーンを取るの当然のようですが、大変危険です。黒 Na5 が定跡。その後 6 . B b 5 + c 6 7 . d x c 6 b x c 6 8 . B e 2 h 6 で互角。一方、黒の 5 手目には Nd 4 ! ? や、b 5 という変化技が多い、詳しく解説すると 1 冊本が書けるほどです。さて次の有名な一手は ? }



6. Nxf7 = Kxf7

{ このように駒をすてて攻撃するサクリフェイスがチェスの醍醐味です。}

7. Qf3+ Ke8 ?

{ 難しい局面ながら、強く Ke6 とナイトを守るのが唯一の勝機でした。以後白が優勢かどうかは結論が出ていません。ちなみに大抵の定跡書では7手目 d 4 ! で白優勢と解説しています。}

8. Bxd5 Qe7 ??

{すでに白やや優勢ですが、c 6 を守る意味で、Q d 7 が正解でした。}

9. Bxc6+ bxc6

10. Qxc6+ Bd7

11. Qxa8+ Kf7

12. Qf3+ Ke6

13. O-O Qc5

14. d4 Qxd4

15. Nc3 Bb4

16. Be3 e4

17. Qg4+ Kf7

18. Qf4+ Qf6

19. Qxc7 Qe7

20. Rad1 Rc8

21. Qxd7 Qxd7

22. Rxd7+ Ke8

23. Rfd1 a5

24. Rxc7 Bxc3

25. Rg8+ Ke7

26. Rxc8 Bxb2

27. c3 Ba3

28. Bc5+ Bxc5

29. Rxc5 a4

30. Rb1 Kd6

31. Rh5 e3

32. fxe3 a3

33. Rb6+ Kc7

34. Rf6 Kd7

35. Rxh7+

1-0

白：大野 航

黒：浅間 花枝

定跡：クイーン・ポーン・オープンニング

No.4_03

1. d4 d5

2. Nc3 Bf5

3. Bg5 Nc6

4. Nf3 Qd7

5. Qd3?? Bxd3

{ 早くもクイーンを取られて白大ピンチです。序盤は駒が元の位置から中央に向かって進むこと(展開)が大切です。その点、黒は好調な出だし。}

6. exd3 O-O-O

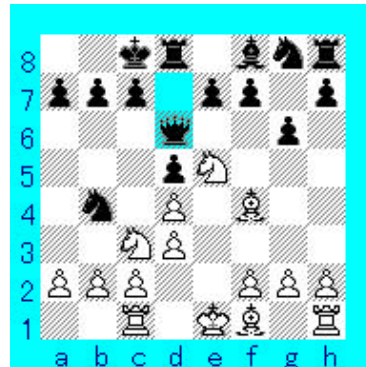
7. Bf4 Nb4

8. Rc1 g6

9. Ne5! ? Qd6 ! ?

{ 白は積極的に弱点の f7 を狙います。このように不利なときは「負けて元々」という気持ちで押していこう。対して黒は一步も引かず、攻撃的な防御で対抗。Qd6 は恐ろし

い手。なぜだか読めますか? }



10. Nxf7? Qxf4

11. Nxh8 Bg7 ?

{ 何と、Qxc1+で終わってしまいました! とすると白の 10 手目は Nxg6 が正解だったようですね。熱戦になってきました。}

12. Nxg6 Qf6 ?

{ もちろん Qxc1。せめて hxg6 と畏にはまったナイトを取れば黒必勝。}

13. Ne5 Qh4 !

14. a3 Qxd4

15. axb4 Qxb4 ?

{ Qxe5 - + 黒勝勢 }

16. Be2? Bxe5

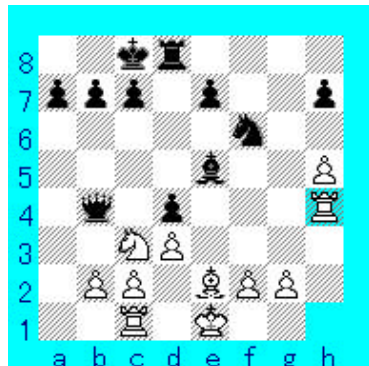
17. h4 Nf6

18. h5 d4

19. Rh4 !

{ 白の逆転狙いがすばらしい。}

あきらめない気持ちが通じたかのような場面ですが、この局面は意外と奥が深い。}



19. . . . dxc3 ? !

20. Rxb4 cxb2 !

{クイーンを取り返された黒絶望と思えば、黒の20手目が絶妙。Rc1で白は守れているようですが、直後黒にはBc3+のルークとキングの両取りがあった!}

21. Rc4 b1=Q ?? 土

{bx01=Qが決め手でした。ここで初めて大逆転です。}

22. Rxb1 a5

23. d4 Nxb5

24. dxe5 e6

25. g4 Ng7

26. Rf4 h6

27. Rf7 Ne8

28. Rh7 a4

29. Rxh6 Rd5

30. Rxe6 Rd4

31. Rxe8+ Kd7

32. Ra8 Kc6

33. g5 Rd5

34. e6 Re5

35. g6 Rxe6

36. g7 Rg6

37. Rc1 Kd6

38. g8=Q Rxg8

39. Rxg8 a3

40. Rg6+ Kd5

1-0

{黒投了。一番面白いゲームになったと思います。}

白：中村健人

黒：本家 和子

定跡：ダッチ・デフェンス

No.4_04

1. d4 f5

2. d5 ? b6

3. e3 Na6

4. Bxa6 Bxa6

5. Bd2 b5 ?

{序盤でポーンを無意味に動かすのは手損です。序盤の目的は駒の展開とキャスリングで、ポーンを進めることではありません。}

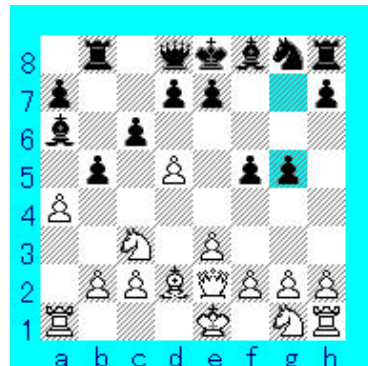
6. Qe2 Rb8

7. Nc3 c6

8. a4 ! g5 ?

{白の8手目は浮いているビショップを狙った好手。ポーンを取るとQxa6なのです。}

さて、この局面、一手のメイトがあります。わかりますか?}



9. axb5 cxb5

{9.Qh5#でした! しかし、axb5も悪くない。}

10. Rxa6 Rc8

11. Nxb5 g4

12. Nxa7 Rc7

13. Ba5 d6

14. Bxc7 Kd7

15. Qb5+

1-0

{この後、棋譜が判読できませんでした。現在白の勝勢であり、黒もねばりましたが白勝でした。白の積極的な指し方が印象的です。}

白：田中 春行

黒：三上 翔平

定跡：キング・ポーン・オープン

No.4_05

1. e4 e5

2. Bb5 c6
3. Ba4 b5
4. Bb3 d6
5. Nf3 Bg4
6. h3 Be6 =
7. d3 d5 ?

{ここまで両者どうどうたる陣形。でもd5は悪手。黒はポーンを気にするのではなく、駒を早く展開するべきです。ポーンを取った白が優勢。}

8. Nxe5 ! 土 dxe4
9. dxe4 Nh6
10. Nc3 Bg4 ?
11. f3 ?

{もちろんビショップを取ればよかった。}

11. . . . Be6
12. Nd5 ! ? cxd5 !
13. exd5 Bb4+ ?

{白も黒も積極的で好感が持てます。しかし、このチェックは結局後手をひくことに。}

14. c3 ! Bd6
15. dxe6 Bxe5
16. exf7+ Nxf7
17. Bxf7+ Ke7 ?

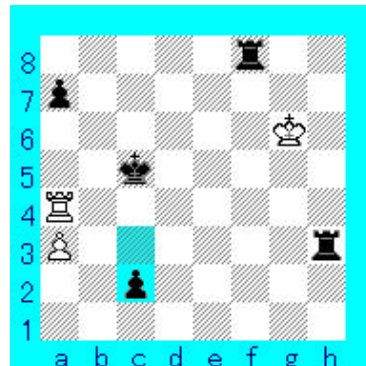
{Kxf7で十分。クイーンはルークがきいているので取られても大丈夫。}

18. Bg5+ Bf6
19. Bxf6+ Kxf6
20. Qxd8+ Rxd8
21. Rd1 ? Rf8

{ここで黒 Rxd1 としておいて Kxf7 なら逆転。白は助かったビショップを落としてから自分でつまずいてしまいます。}

22. g4 ? ? Kxf7 干
23. Rd7+ ? ? Nxd7
24. h4 Rae8+
25. Kf2 Ne5
26. h5 Nd3+
27. Kg3 Nxb2
28. h6 gxh6
29. Rxh6 Kg7
30. g5 Na4
31. f4 Re3+
32. Kg4 Re4
33. Kh5 Rxf4
34. g6 hxg6+
35. Rxc6+ Kf7
36. Kg5 Ke8
37. a3 R4f5+
38. Kh6 Kf7
39. Rg7+ Ke8
40. Kg6 R5f6+
41. Kh7 Rf3
42. c4 bxc4
43. Rg5 Rh3+
44. Kg6 c3
45. Re5+ Kd7
46. Rd5+ Kc6

47. Rd4 Kb5
48. Rb4+ Kc5
49. Rxa4 c2



50. Rxa7 ! c1=Q

{黒はうまく指して白のミスを誘い、必勝形。しかし、この不利な局面で白の粘りは見事。クイーンに成らせておいてキングの裏から素抜きを狙うの。初級者の指し方ではありません。}

51. Rc7+ Kd5
52. Rxc1 Rg3+
53. Kh5 Rh8#
- 0-1

{クイーンを取られた黒にはメイトがあって、白も力尽きました。両者の指し方に無限の未来を感じさせてくれるゲームでした。最後 53.Kh7でも Rxa3 で黒勝勢。一番の熱戦でした。}

(山田 明弘)

アスターナ

カスパロフの巻き返し

中央アジアの国カザフスタンの独立10周年を祝って大きなチェスの競技会が催されました。

5月19日から7月1日まで、場所は首都アスターナ。参加した棋士は世界でもトップクラスの強豪ぞろい。参加者の平均レイティングは2732。プロでも普通のGMなら最下位确实の競技会です。

中でも去年12月に実力世界一のカスパロフが完敗したクラムニックが参加したことで事実上第2の世界選手権となりました。これがアスターナ・スーパー・トーナメントです。



(ステージ上 アスターナにて)

結果は、負けなしのカスパロフが今も無冠の王者であることを証明しました。

特に前回は勝てなかった宿敵クラムニックを撃破しての優勝は(日本以外)世界中が大ニュースとして報じました。「まだまだ若い者に譲れんぞ」というところでしょう。

日本のマスコミでは、将棋の羽生が地方の

トーナメントに出場したことを報じても、このようなチェス界の大ニュースはほとんど紹介しません。「チェスなんて誰もやってない」と思われても仕方ないですが、誤解です。このトーナメントではカザフスタンの大統領自身が選手を歓迎しています。国をあげてのお祭りなのです。日本で考えられますか？

会報では少しでも世界チェスの雰囲気をお届けしていきます。



(カスパロフの初手 アスターナにて)

結果表

1位	カスパロフ(ロシア)	7点
2位	クラムニック(ロシア)	6.5点
3位	ゲルファント(イスラエル)	5.5点
4位	シロフ(スペイン)	4.5点
5位	モロゼビッチ(ロシア)	4.5点
6位	サヴァカソフ(カザフスタン)	2点

(各々2戦の総当り競技会：全勝で10点)

クラムニックの破壊力を示すゲームと、直接対決となったゲームの棋譜をご紹介します。途中図で次の手を当ててみてください。

白：GMクラムニック

黒：GMサヴァカソフ

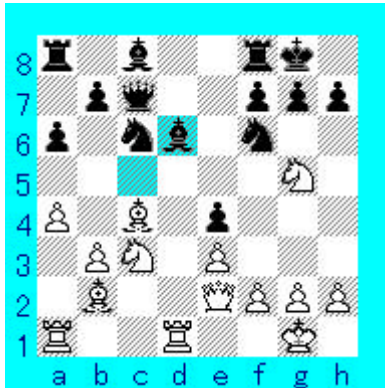
定跡：クイーンズ・ビャンビット・アクセプトッド

1. d4 d5 2. c4 dxc4

3. Nf3 Nf6 4. e3 e6

5. Bxc4 c5 6. 0-0 a6
 7. a4 Nc6 8. Qe2 Qc7
 9. Rd1 Bd6 10. dxc5 Bxc5
 11. b3 0-0 12. Bb2 e5
 13. Nc3 e4 14. Ng5 Bd6

(クラムニック vs. サヴァカソフ 白番)



(狙いはB x h 2 +。一見互角の陣形にみえますが、ここから黒がつぶれるなんて！)

15. Nd5 Nxd5 16. Rxd5 Bxh2+
 17. Kh1 Be5 18. Qh5 Bf5
 19. Nxf7 Rxf7 20. Qxf5 g6
 21. Bxe5 1-0



(試合開始はあく手から アスターナにて)

白：GMカスパロフ

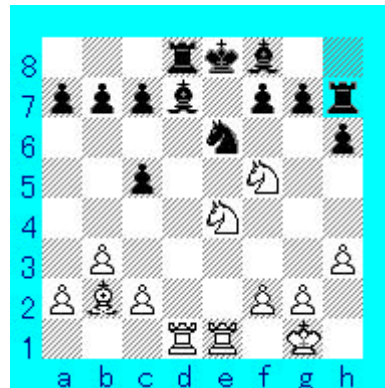
黒：GMクラムニック

定跡：ルイ・ロペス

1. e4 e5 2. Nf3 Nc6
 3. Bb5 Nf6 4. 0-0 Nxe4

5. d4 Nd6 6. Bxc6 dxc6
 7. dxe5 Nf5 8. Qxd8+ Kxd8
 9. Nc3 h6 10. h3 Bd7
 11. b3 Ke8 12. Bb2 Rd8
 13. Rad1 Ne7 14. Rfe1 Ng6
 15. Ne4 Nf4 16. e6 Nxe6
 17. Nd4 c5 18. Nf5 Rh7

(カスパロフ vs. クラムニック 白番)



(白は確かに優位です。でも必死にしのご黒の守りは固い。どうやって攻めたらよいでしょう。最終ラウンド、勝った方が優勝という場面でカスパロフの放った魔法の技とは？)

19. Bf6 Rc8 20. Bxg7 Bxg7
 21. Nxc7+ Rxc7 22. Nf6+ Ke7
 23. Nxd7 Rd8 24. Ne5 Rxd1
 25. Rxd1 Nf4 26. Kh1 Rg5
 27. Ng4 Rd5 28. Re1+ Kf8
 29. Nxe6 Rd2 30. Re5 Rxf2
 31. Rf5 Kg7 32. Ng4 Rxc2
 33. Rxf4 Rxc2 34. Rf2 Rc3
 35. Kg2 b5 36. h4 c4
 37. h5 cxb3 38. axb3 Rc5
 39. h6+ Kf8 40. Nf6 Rg5+
 41. Kh1 1-0

(山田 明弘)

チェス学校 2

幼稚園

幼稚園では以下の本で序盤戦の戦い方を学びましょう。

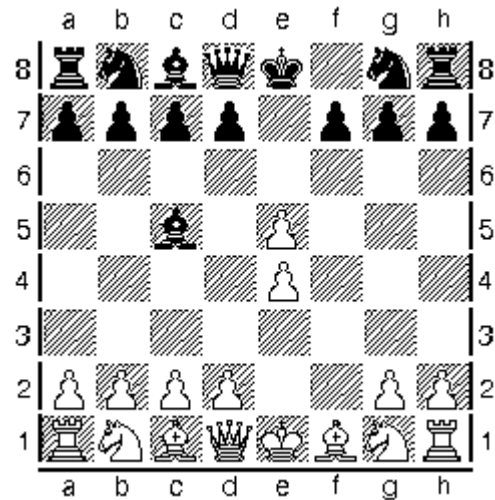
Bruce Pandlfini 著, The Winning Ways, Simon & Shuster, 1998

この本では、序盤での数々の失敗とそれをとがめる手を次の1手形式で示しています。

問題 1 .

定跡：キングズ・ギャンビット・デクラインド

1. e4 e5 2. f4 Bc5 3.fxe5??

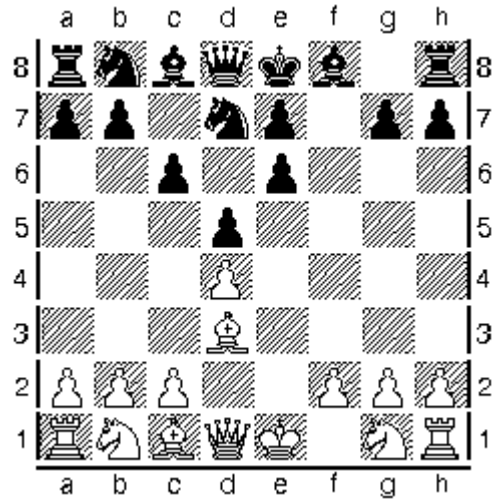


黒の次の1手は？

問題 2 .

戦形：カロ・カン・ディフェンス

1.e4 c6 2.d4 d5 3.Bd3 Nf6 4.e5 Nfd7 5.e6 fxe6



白の次の1手は？

解答は次号で発表します。

小学校

小学校では以下の本でチェスマスターのゲームを鑑賞しましょう。

Fred Reinfeld 著, Great Short Games of the Chess Masters, Dover Publications, Inc., 1996

25手以内で終了したゲームはショート・ゲームと呼ばれます。こうした短いゲームで、序盤・中盤・終盤というチェスの流れをつかむことを目指しましょう。

白 **Charousek** 対黒 **Wollner**

Kaschau, 1893

定跡：ダニッシュ・ギャンビット

このゲームでは、白が華麗な技を発見する手助けをするように黒がプレイしているように思えます。そして白は最善の限りを尽くすのです。

1.e4 e5 2.d4 exd4 3.c3 dxc3 4.Bc4 Nf6

黒は**4...dxb2**としてさらに3つ目のポーンも取った後、**5.Bxb2 c6 6.Nf3 d6 7.0-0 Nd7**から**8...Nc5**として、堅固な防御陣を築くこともできました。

5.Nf3 Bc5 6.Nxc3 d6 7.0-0 0-0 8.Ng5

白はポーンを犠牲にしながら巧みにプレイしていますが、白が狙っている攻撃を黒がもし**8...Nc6**とさらに駒を展開して防いでいれば、形勢はわかりませんでした。

8...h6?

白の思い通りの展開にさせてしまいました。

9.Nxf7! Rxf7 10.e5

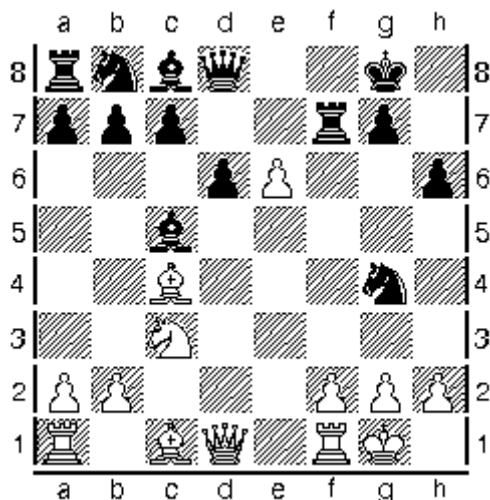
黒の**d6**のポーンはピンされていますので、この手が成立するのです(**8...Nc6**としていればこの手は成立しませんでした)。

10...Ng4

もし**10...Ne8 11.Be3! Bb6 12.Qh5 Qe7 13.Bxb6 axb6 14.Re1**という展開になれば、白が優勢です。

11.e6!

黒のルークとナイトを同時攻撃する痛烈な一撃です。



黒には有効な指し手が見当たりません。もし黒が**11...Rxf2?!**とするなら、**12.e7+ Rf7+ 13.Kh1**となって白の勝ちです。もちろん、**11...Re7**は**12.Qxg4**となるのでダメです。最後に、**11...Bxe6**は**12.Bxe6**で白が容易に勝てます。

11...Qh4!? 12.exf7+ Kf8 13.Bf4! Nxf2 14.Qe2 Ng4+ 15.Kh1

白は**Qe8#**をねらっています。

15...Bd7 16.Rae1!

黒の弱点を突く好手です。

16...Nc6 17.Qe8+ Rxe8 18.fxe8=Q+ Bxe8 19.Bxd6#

最後は非常に気持ちよく決めました。白の芸術的な技に黒の守りはもろくも崩れ去りました。

中学校

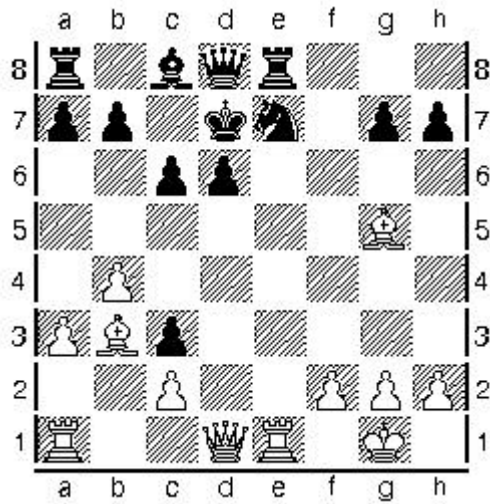
中学校では以下の本でチェックメイトの手筋

をトレーニングしましょう。

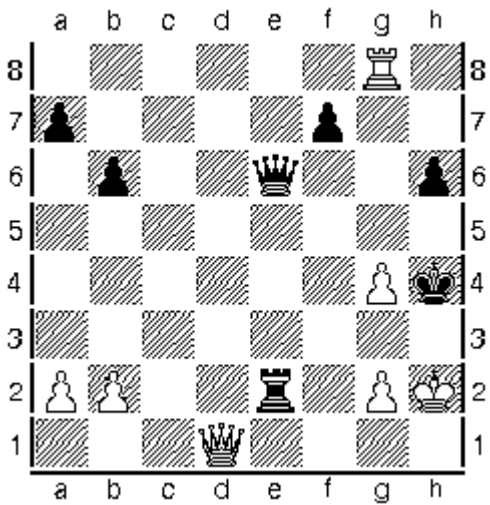
Fred Reinfeld 著, 1001 Brilliant Ways to Checkmate, Sterling Publishing Co., Inc., 1955

今回もクイーン・サクリフェイスがテーマです。クイーンを犠牲にしてチェックメイトする大技を決めてください。

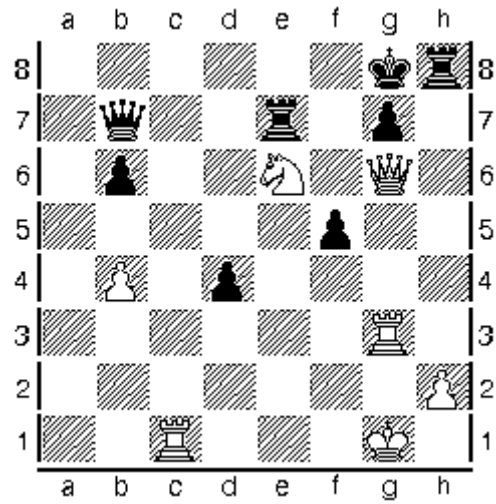
問題1 . 白先チェックメイト



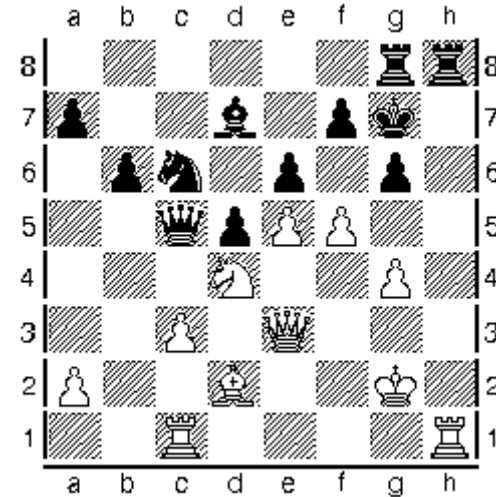
問題2 . 白先チェックメイト



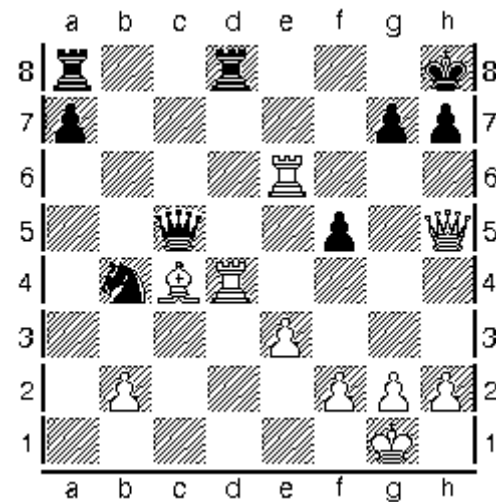
問題3 . 白先チェックメイト



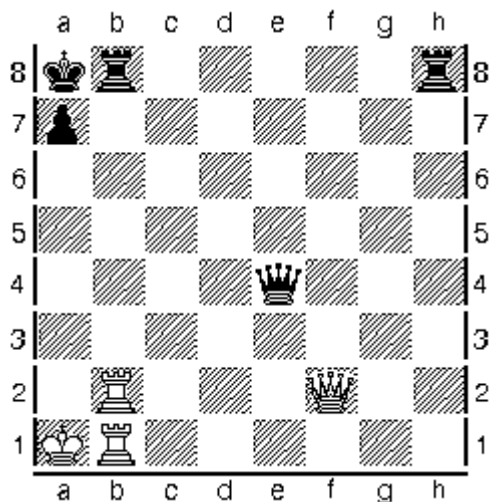
問題4 . 白先チェックメイト



問題5 . 白先チェックメイト



問題 6 . 白先チェックメイト



解答は次号で発表します。

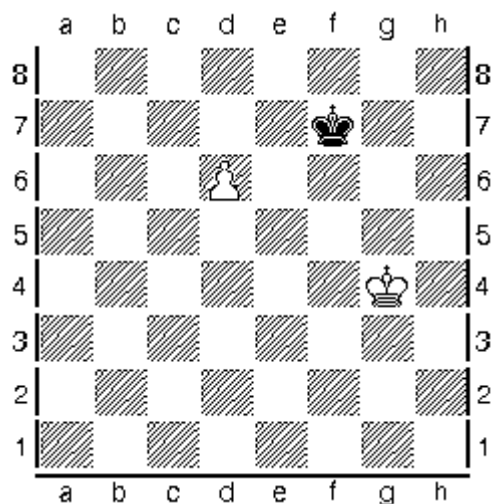
高等学校

高等学校では以下の本で終盤戦の手筋を学びましょう。

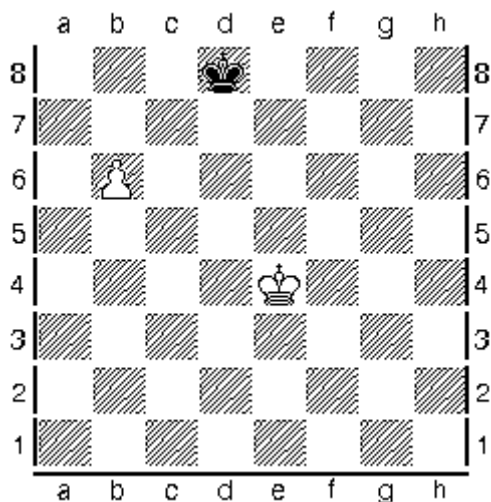
Irving Chernev 著, Practical Chess Endings, Dover Publications Inc., 1969

お互いにクイーンやビショップのような大駒を交換した後は、キングに守られながらポーンを成ることが終盤戦の重要なポイントになります。以下の問題でキングとポーンだけの終盤戦に強くなりましょう。黒が白のポーンの成りを防げないとき勝ちとします。

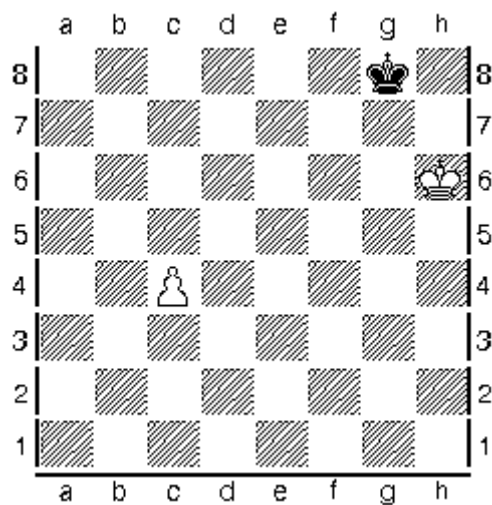
問題 1 . 白先勝ち



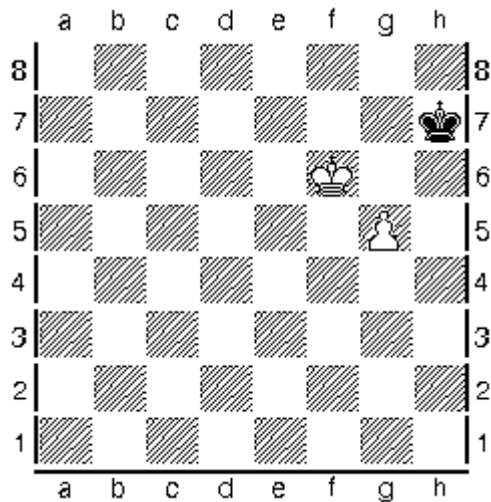
問題 2 . 白先勝ち



問題 3 . 白先勝ち



問題4 . 白先勝ち



解答は次号で発表します。

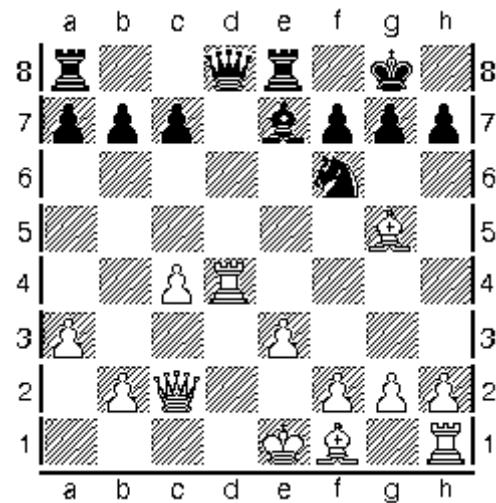
短期大学

短期大学では、中盤戦の華麗な手筋の技を以下の本で学びましょう。

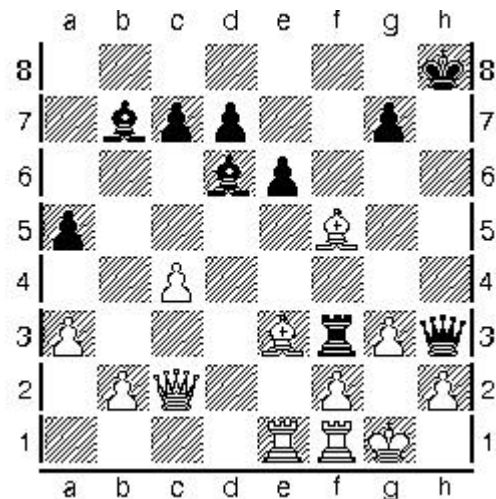
Lou Hays 著, Winning Chess Tactics for Juniors, Hay Publishing, 1998

今回もディスカバー・アタックがテーマです。ある駒を移動することで別の駒の利きを生じさせる手筋です。では、みなさんも問題に挑戦してみてください。問題はすべて3手以内で教えてください。

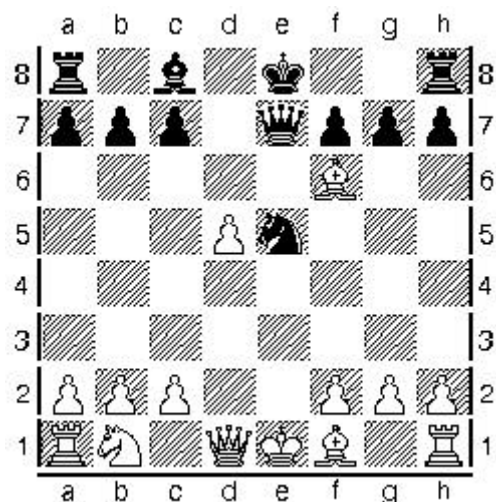
問題1 . 黒番



問題2 . 黒番



問題3 . 黒番



解答は次号で発表します。

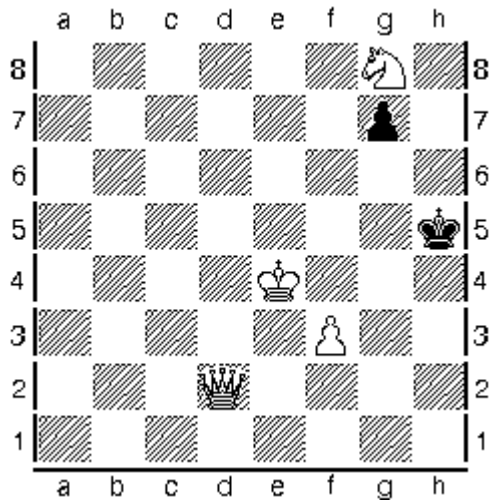
大学

大学では以下の本でチェス・プロブレムの世界を楽しみましょう。

Robert Lincoln 著, More Fun with Chess Miniatures, US Chess Federation, 2000

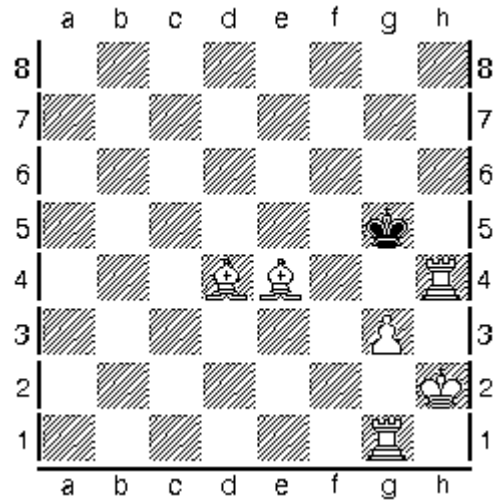
問題 1 . 2 手でメイト (白番)

E. B. Cook 作, American Chess Nuts, 1868 年



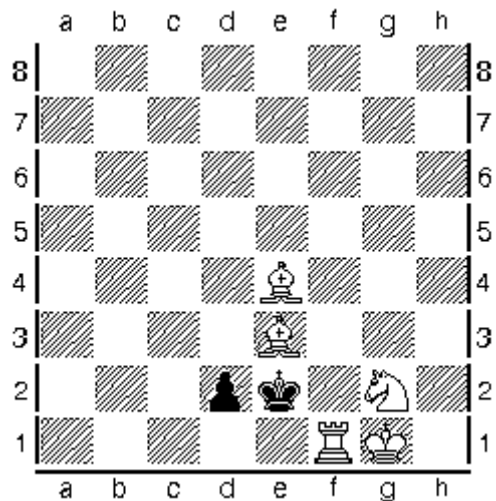
問題 2 . 2 手でメイト (白番)

G. N. Cheney 作, American Chess Nuts, 1868 年



問題 3 . 2 手でメイト (白番)

W. Shinkman 作, Detroit Free Press, 1880 年



解答は次号で発表します。

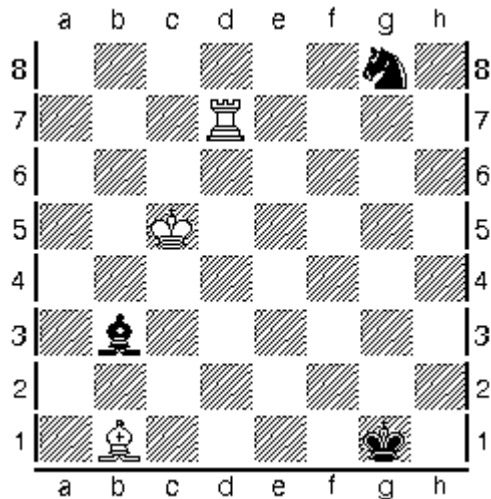
大学院

大学院ではスタディまたはエチュードと呼ばれる終盤戦の問題を以下の本で研究しましょう。

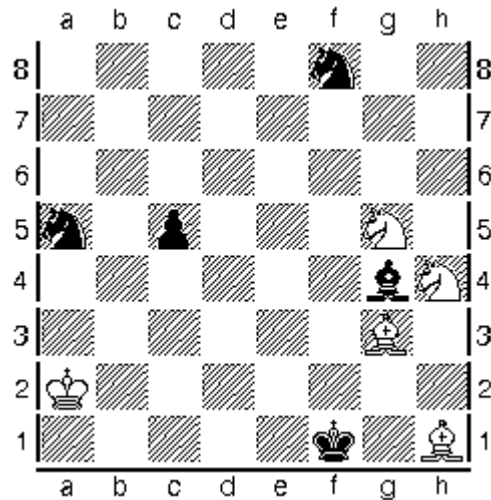
John Beasley & Timothy Whitworth 著, Endgame Magic, B. T. Batsford, Ltd, London, 1996

では、問題にチャレンジしてください。どちらも駒得を目指す問題です。

問題 1 . 白先勝ち



問題 2 . 白先勝ち



解答は次号で発表します。

前号の解答

幼稚園

問題 2 **4.Qh5+**

黒は **4...Ke7** とするしかありません。もし **4...g6** とするなら、**5.Qxe5+** とされ、つぎに **6.Qxh8** でルークを取られてしまいます。そもそも黒は **e5** のポーンを守るために **2...f6** としたのが悪手でした。これで、**e8** から **h5** への対角線が開いてしまったからです。

中学校

問題 2 **1.Qf6+ Nxf6 2.Bxf6#**

問題 3 **1.Qxh5+ Rxh5 2.Bxg6#**

問題 4 **1.Nc7+ Kf8 2.Qd8+ Bxd8 3.Re8#**

問題 5 **1.Rc8 Rxc8 2.Rxc8 Bxc8 3.Qxd8# (2...Qxc8 3.Qe7#)**

問題 6 **1.Qxg4+ Kxg4 2.Be2#**

高等学校

問題 1 **1.h4 Kc4 2.h5 Kd5 3.h6 Ke6 4.h7 Kf7 5.h8=Q**

ただ白ポーンを前進するだけでするので簡単でしたね。

問題 2 **1.Kf5! Ke3 2.Ke5! Kd3 3.Kd5! Kc3 4.Kc5!**

ただ白ポーンを前進するだけでは黒キングに取られてしまいます。工夫が必要です。白キングを使って黒キングが上部へ行けないようにブロックすることによって、白ポーンの安全を確保します。解答後は、**5.a4** から白ポーンのプロモーションが確定しました。

問題 3 **1.Ke6! Kd8 2.Kf7 Kd7 3.e6+ Kd8 4.e7+ Kd7 5.e8=Q**

白キングと黒キングが向かい合う形をオポジションといいます。この問題では、オポジションにすることで黒キングを白ポーンがプロモーションする **e8** のマスから追い出すことが鍵になります。

短期大学

問題 2 **1...Qg2+!! 2.Kxg2 Nf4+ 3.Kg1 Nh3#**

問題 3 **1...Rxf3! 2.Qxe2 Rxf1#**

大学

問題 1 **1.Be5 Kxd5 2.Qb5#**

問題 2 **1.Bf6 Ke6 2.Qc6#**

問題 3 **1.Ra6 bxa6 2.b7#**

大学院

今回のテーマは支配(domination)です。支配とはどこに動いても必ずどれか相手の駒に取られてしまう状態をいいます。

問題 1 **1.Nf7 Ba1 2.Kb1!**

さて、解答後の局面では、黒ビショップは助かりません。まず、**a1** と **b2** は白キング、**e5**、と **h8** は白ナイトの利きがあるので除外します。仮に黒ビショップがそれ以外のマスに移動したとすると、**3.Nd6+ Kxc7 (3...Kd7** なら **4.c8=Q+** で黒負け) となりますが、この後黒ビショップが **c3** または **d4** にいれば **4.Nb5+** で黒キングと黒ビショップの両取り、黒ビショップが **f6** または **g7** にいれば **4.Ne8+** で黒キングと黒ビショップの両取りとなります。

問題 2 **1.Be6! Rb3! 2.Bd6! Rc3+ 3.Kd2 Rxf3 4.Ke2**

まず、白ポーンを守りつつ取られそうな白ビショップを逃がす自然な **1.Bd5** は、**1...Rc7+ 2.Kd1 Rd7** で白ビショップが取られてしまいますので、**1.Be6** が最善です。**1...Rb3** は **2.Bxb3** のステールメイトをねらっています。これを避けつつ白ビショップを逃げた後、**2...Rxf3** と白ポーンを取ると、**3.Be5+** 以下メイトです。そこで **2...Rc3+** から **3...Rxf3** と白ポーンを奪いますが、**4.Ke2** となって黒ルークは逃げ場がありません。白キングおよび白ビショップの利きがないのは **c3** と **f6** のマスだけですが、**4...Rc3** ならば **4.Be5 5.Kb2 6.Kd2**、**4...Rf6** ならば **5.Be5+** となり、いずれも黒ルークは取られてしまいます。

(川越 敏司)

編集後記

- 発行遅れは係の怠慢。許して。
- 函館チェスクラブの会員であるロシア極東大学の学生、嶋原君が将棋の道南大会(竜将戦)で優勝した。おめでとう!
- チェスのGMロチエは「将棋は日本式チェスではない。素晴らしいゲームだ」と認める。しかし、チェスを「西洋将棋」と軽く扱う人が多い日本。
- アメリカの同時多発テロのニュースは世界に衝撃を与えた。なぜ、人は殺し合いを選ぶのか。戦争ならチェス盤上で足りるのに...。
- 黙祷。

発行者代表： 山田 明弘 (電話 01376-3-2846)
連絡先： 高佐 一義 (ktakasa@nifty.com)
ホームページ： 川越 敏司